

# ほんものの西陣織

京都の伝統文化を代表する西陣織。この世界に誇る西陣織も実はほかの伝統文化と同様、いま本当によいものを後世に残していくことが出来るのかどうか問われています。クオリティが高く、個性のある多種多様な織物「ほんものの西陣織」の文化を伝える為に「帯を知る / 帯を楽しむ」と題して、2011年からこれまで、展覧会と座談会を続けてまいりました。令和初の帯を知る帯を楽しむ、今回のテーマは「日本で生まれた文様」です。日本における伝統の染織品の多くは大陸をルーツに持ちます。その為、それらに用いられる文様、柄の多くも元は日本以外で作られています。その一方で日本人の美意識や風土に応じて独自に生み出された文様ももちろんたくさんあります。今回はそれらにスポットをあて展示いたします。まるで美術品のような西陣織の逸品の本当の良さについて売買を通じてではなく、単純に見て触れて楽しんでいただき、より多くの人に知っていただきたいと思えます。西陣織の専門的なお話を聞いて、お茶を一服。展示の織物を創作した織元が素朴な疑問や普段聞く事の出来ない専門的な質問までお答えします。



## 座談会

一回目 11:00～ / 二回目 14:00～ 各回それぞれ約 40分

展示品から数点ずつピックアップして、更に深掘りした説明を各織元さんよりお聞きします。個性豊かな織物のお話や興味深い文様のルーツのお話をご期待ください。

## 展示する 西陣織の 織元

### 泰生織物

西陣で手に入る最高ランクの素材を使用した手織りを中心に織られた帯は価格以上の質を感じます。

### まこと織物

西陣で最初に「すくい織」を開発し、洒落帯の分野で高い評価を得ています。

### 帯屋捨松

独特の分業が発展した西陣において、一貫した自社生産により、他では真似できない魅力があります。

### 錦和

現代にも着用しやすいようにアレンジされた古典柄の帯は、品があり、飽きが来ません。

### 梅垣織物

温故知新をモットーにされており、伝統を踏まえた現代に生きる帯をまじめに創られています。

### 帯屋河合康幸

フォーマル用の袋帯を得意としており、特に独特な織技法を使った唐織や夏物は秀逸です。

## [ 主催 ]

### ■京の帯処 西陣屋



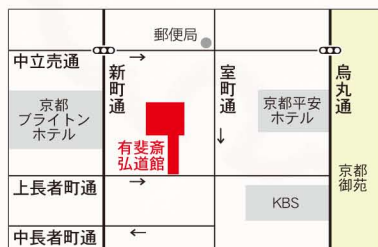
☎ 075-200-9613  
京都市上京区榎木町通  
黒門西入中御門横町 565-10  
<http://kyo-obi-nishijinya.com>

## [ 共催 ]

### ■公益財団法人 有斐斎弘道館



☎ 075-441-6662  
京都市上京区上長者町通新町  
東入ル元土御門町 524-1  
<http://kodo-kan.com>



京都市営地下鉄「丸太町駅」より徒歩 5分  
①京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅で下車  
②2番出口を出て、烏丸通沿いに北へ  
③上長者町通(KBS 京都の北東角)を西へ  
④一筋目を越えて、道路北側が入り口です

